



The Japanese School of Melbourne

メルボルン日本人学校だより

令和8年度
7月号
R8. 7. 23

めざす子ども像 *進んで学ぶ子 *心豊かで思いやりのある子 *たくましい子、やりぬく子

2学期がスタートしました！

冬休みの間、静まりかえっていた学校に子供たちの元気な声とはじける笑顔が戻ってきました。登校時の校門での元気のよいあいさつ、朝の教室から聞こえる美しい歌声、運動場で楽しそうに遊ぶ姿、友達と真剣に学習をしている様子・・・ふだんの何気ない学校生活のひとつですが、その一つ一つがとても幸せなことで、このような子供たちの姿を見ることができていることを心からありがたく思います。20日の始業式に子供たちの顔を見て一番うれしかったのは、何といっても全員が冬休みの宿題である「命を大切にする」ことを守ってくれたということです。冬休みの期間中、ご家庭でお子様の健康と安全に気をつけてくださったことと思います。ご協力に感謝いたします。

2学期は学部や学年ごとの交流学习、校外学習、9月には子供たちも楽しみにしているメル校デーなどたくさんの行事が予定されています。1学期終業式に児童生徒会執行部からメル校デーと運動会の「僕らが主役 次へとつなぐ物語（ストーリー）」というスローガンが発表されましたが、このスローガンに込められた想いについて児童生徒会長がこんな素晴らしい言葉を述べてくれましたので、紹介したいと思います。「メル校は40年以上、たくさんの児童生徒によってバトンパスを繰り返しながらつながってきました。そして今、主役になるのは私たちです。次の世代にメル校の伝統を伝えられるのも私たちだけです。私たちの人生やメル校の歴史という物語の中で、私たちがメル校にいる時間はとても小さなものかもしれません。しかし、一人一人の努力が一つになった時、この時間は私たちやメル校に大きな影響を与えるはずですよ。このスローガンを意識して、皆で協力して練習に取り組んでいきましょう！」・・・このようなことを考えて行動できる子供たちがいることが誇りであり、そんな子供たちこそが宝物です。子供たちには、2学期も自分を信じていろいろなことに挑戦し、一歩前へと踏み出し、自分の力を高めていってほしいと願います。さまざまな活動の中で、友達と共に学び合いながら、より一層成長する子供たちの姿に出会えるのを楽しみにしています。行事にとどまらず、日々の学習や生活面でも、お子様の豊かな成長へとつながる充実した2学期になるよう、職員一同、誠心誠意取り組んでまいりますので、温かいご支援とご協力を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

校長 小橋 幸代

【2学期始業式&JSM集会】

やる気満々の子供たちと再び出会えた2学期始業式。3名の児童生徒代表が、2学期にがんばりたいことや決意を、全校生の前で堂々と発表しました。自分の課題をしっかりとらえ、目標を決めて頑張ろうとする意欲がしっかり伝わって来る素晴らしい発表でした。新しい仲間も増えて、うれしい2学期のスタートとなりました。



【児童生徒数（7月20日現在）】

学年	小学部								中学部				合計
	P	1	2	3	4	5	6	計	7	8	9	計	
男	2	3	2	3	2	2	3	17	2	1	0	3	20
女	1	1	3	1	2	2	3	13	0	1	0	1	14
計	3	4	5	4	4	4	6	30	2	2	0	4	34

